

平成29年度 小松市予算のあらまし



「みんなの笑顔いっぱいのまち」実現に向け、「躍動！小松」

もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 平成29年度の予算はいくら？	2
3. どんないちいがあるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	9
6. 貯金はいくらあるの？	9
7. 予算を家計簿に例えてみると…	10
8. 主な施策の概要	11

1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決を経て決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

Q. 年の途中で予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初の予算と同じく市議会の審議・議決を経て変更します。

Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。年度が終わった後、決算書を会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）がつくり、市長が市議会の認定を受けます。

2. 平成29年度の予算はいくら？

平成29年度は、骨格予算の平成29年度当初予算と6月補正予算を合わせた予算が通年予算です。

Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計	471億665万5千円	(前年度比 +47億4,665万5千円 11.2%増)
特別会計	329億450万円	(前年度比 △8億1,950万円 2.4%減)
企業会計	231億2,610万円	(前年度比 +15億5,310万円 7.2%増)
全会計	1,031億3,725万5千円	(前年度比 +54億8,025万5千円 5.6%増)

・内訳表

(単位：億円)

		29年度	28年度	増減額	増減率
一	般 会 計	471.1	423.6	47.5	11.2 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	122.7	125.3	△ 2.6	△ 2.1 %
	簡 易 水 道	—	0.4	△0.4	皆 減
	農 業 集 落 排 水	—	7.0	△7.0	皆 減
	介 護 保 険	98.2	95.7	2.5	2.6 %
	公 債 管 理	90.9	87.5	3.4	3.9 %
	産 業 団 地	3.5	8.6	△ 5.1	△ 59.4 %
	後 期 高 齢 者 医 療	13.7	12.7	1.0	7.9 %
	小 計	329.0	337.2	△ 8.2	△ 2.4 %
企 業 会 計	水 道	32.8	30.9	1.9	6.1 %
	下 水 道	104.8	92.7	12.1	13.1 %
	病 院	93.7	92.1	1.6	1.7 %
	小 計	231.3	215.7	15.6	7.2 %
合 計	1,031.4	976.5	54.9	5.6 %	

△はマイナスを表す。

Q. 予算の特徴は？

一般会計…歳入（収入）では、市税（税金）において個人市民税や固定資産税の増収が見込まれるため、前年度から3.4億円の増加となっています。
歳出（支出）では、ごみ処理施設の建設が本格的に始まったこと等により普通建設事業費が前年比50.9億円増となったほか、退職者数の減等により人件費が前年比2.4億円減となり、全体で前年比47.5億円の増加となりました。

特別会計…国民健康保険は、被保険者数の減少が見込まれるため前年比2.6億円の減となり、介護保険、後期高齢者医療の2つの会計では、高齢化の伸展や医療の高度化による介護サービス費や医療費といった社会保障費の増加などにより前年比3.5億円増となっています。
なお、平成29年度より簡易水道を企業会計の水道に、農業集落排水を下水道へ会計を統合しています。

企業会計…下水道では、浸水対策として九竜橋川ポンプ場を増設するとともに、水質保全のため中央浄化センター水処理施設の更新工事を実施します。
市民病院では、給排水設備等を更新するほか高度医療機器を追加購入します。

3. どんな収入があるの？

一般会計収入
471.1億円

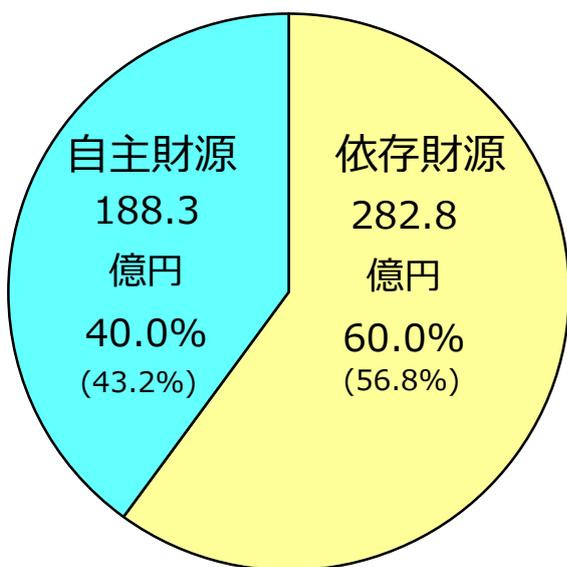
自主財源	市税	皆さんが納めた税金です。	155億2千万円
	負担金や使用料	施設の使用料や保育料などです。	8億5千万円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	11億9千万円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	12億7千万円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	126億6千万円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するため、国や県から	63億円
	譲与税・交付金	もらえるお金です。	30億4千万円
	市債	銀行などから借り入れる市の借金です。	62億8千万円
合計			471億1千万円

Q. 自主/依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に集めることができる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。

平成29年度予算 自主・依存財源割合



ポイント！

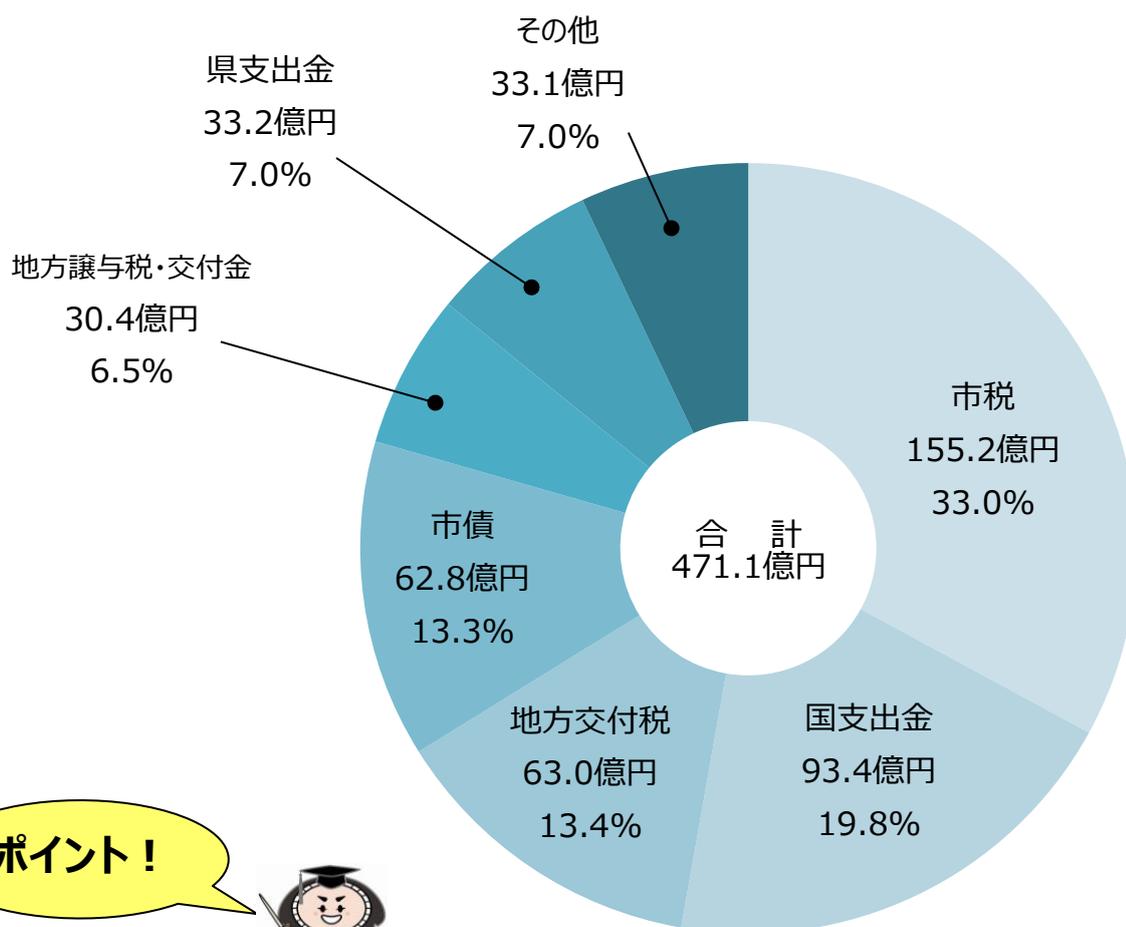
小松市の一般会計の収入のうち、約40.0%が「自主財源」です。約60.0%が「依存財源」です。



(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設に伴う国庫支出金の増加により依存財源が増加しています。

※()内は、H28年度の数値

Q. 一般会計収入の内訳は？



ポイント！



- 市民の皆さんが納める税金が、収入の33%をしめます。
- 地方交付税は63億円で、前年比2億8,000万円増となっています。
- 地方消費税交付金は20億6,000万円、前年比1億円減となっています。
- 国支出金は(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設など建設事業の増加や認定こども園・保育園など子育てに必要な経費の増加により、前年比24億4,000万円増となっています。
- 市債（借金）は建設事業の増加により、前年比12億9,000万円増となっています。

・市税の内訳

項目	金額 (万円)	対前年比
・固定資産税（土地や家屋を所有している人が納めます）	67億1,000万円	+ 2.0%
・個人市民税（所得に応じて納めます）	56億7,000万円	+ 3.5%
・法人市民税（会社の利益に応じて納めます）	12億1,000万円	+ 3.4%
・軽自動車税（軽自動車を持っている人が納めます）	2億5,400万円	△ 3.4%
・市たばこ税（タバコを買った人が納めます）	7億1,000万円	△ 4.1%
・その他（入湯税や都市計画税）	9億6,600万円	+ 2.0%

・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

- ・国庫支出金 93億4,062万8千円 ▲
- ・県支出金 33億2,194万1千円 ▲

・各種交付金の内訳

- ・利子割交付金 1,500万円 ▲
- ・配当割交付金 7,000万円 ▲
- ・株式等譲渡所得割交付金 4,000万円 ▲
- ・地方消費税交付金 20億6,000万円 ▲
- ・ゴルフ場利用税交付金 6,200万円 ▲
- ・自動車取得税交付金 8,000万円 ▲
- ・地方特例交付金 6,300万円 ▲
- ・交通安全対策特別交付金 1,400万円 ▲
- ・国有提供施設等所在市助成交付金 2億9,000万円 ▲

・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

- ・普通交付税 56億3,000万円 ▲
- ・特別交付税 6億7,000万円 ▲

・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

- ・自動車重量譲与税 2億3,000万円 ▲
- ・航空機燃料譲与税 1,000万円 ▲
- ・地方揮発油譲与税 1億円 ▲

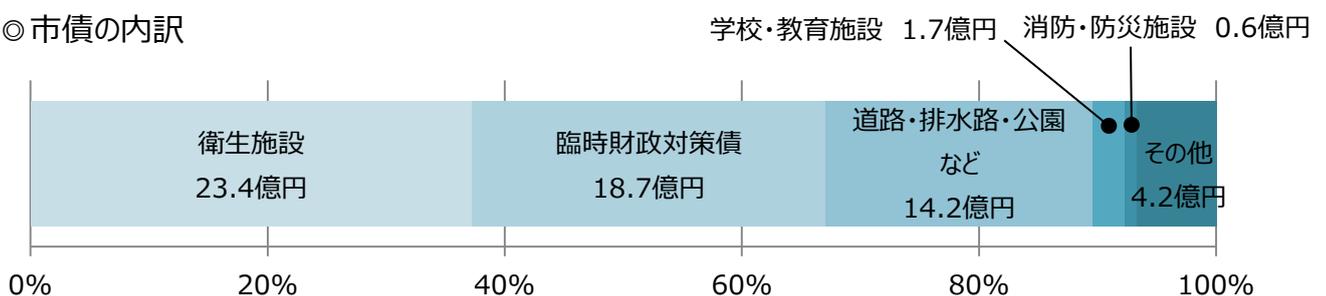
・その他の収入

- ・分担金及び負担金（保育料など） 2億4,388万7千円 ▲
- ・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など） 6億 634万9千円 ▲
- ・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など） 2億 495万3千円 ▲
- ・繰入金（基金からの繰り入れ） 11億8,989万4千円 ▲
- ・繰越金（前年度からの繰り越し） 1億4,432万4千円 ▲
- ・寄附金（個人版・企業版ふるさと納税など） 2億7,870万6千円 ▲
- ・諸収入 6億4,257万3千円 ▲

Q. 借金をするのはなぜ？

道路や学校などの公共施設の整備には一度に多額の経費がかかります。そのお金を整備する年度の予算だけを使った場合、施設は長く使われるのに整備に必要なお金は、その時の市民だけになってしまいます。長期に借入れる借金には、将来施設を利用する市民の税金で支払うことにより、世代間の負担を公平にするという役割があります。

◎市債の内訳



4. 予算は何に使うの？

一般会計支出
471.1億円

義務的経費

人件費	54億1,925万円	✳
扶助費	91億9,287万円	➡
公債費	65億3,960万円	✳
小計	211億5,172万円	

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者、高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

一般行政経費

物件費	57億1,270万円	➡
補助費等	19億9,250万円	➡
維持補修費	1億8,290万円	✳
一部事務組合負担金	1億1,862万円	➡
上下水道・病院への交付金	30億1,368万円	✳
小計	110億2,040万円	

施設の維持管理費や、行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費…光熱水費や消耗品費、通信費など
- ・補助費等…特定の事業や研究を行う公益団体に対する補助金など
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から、費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

投資的経費

普通建設事業(補助)	83億1,616万円	➡
普通建設事業(単独)	27億1,562万円	➡
小計	110億3,178万円	

道路や公園、防災・減災対策など、建設事業にかかる経費

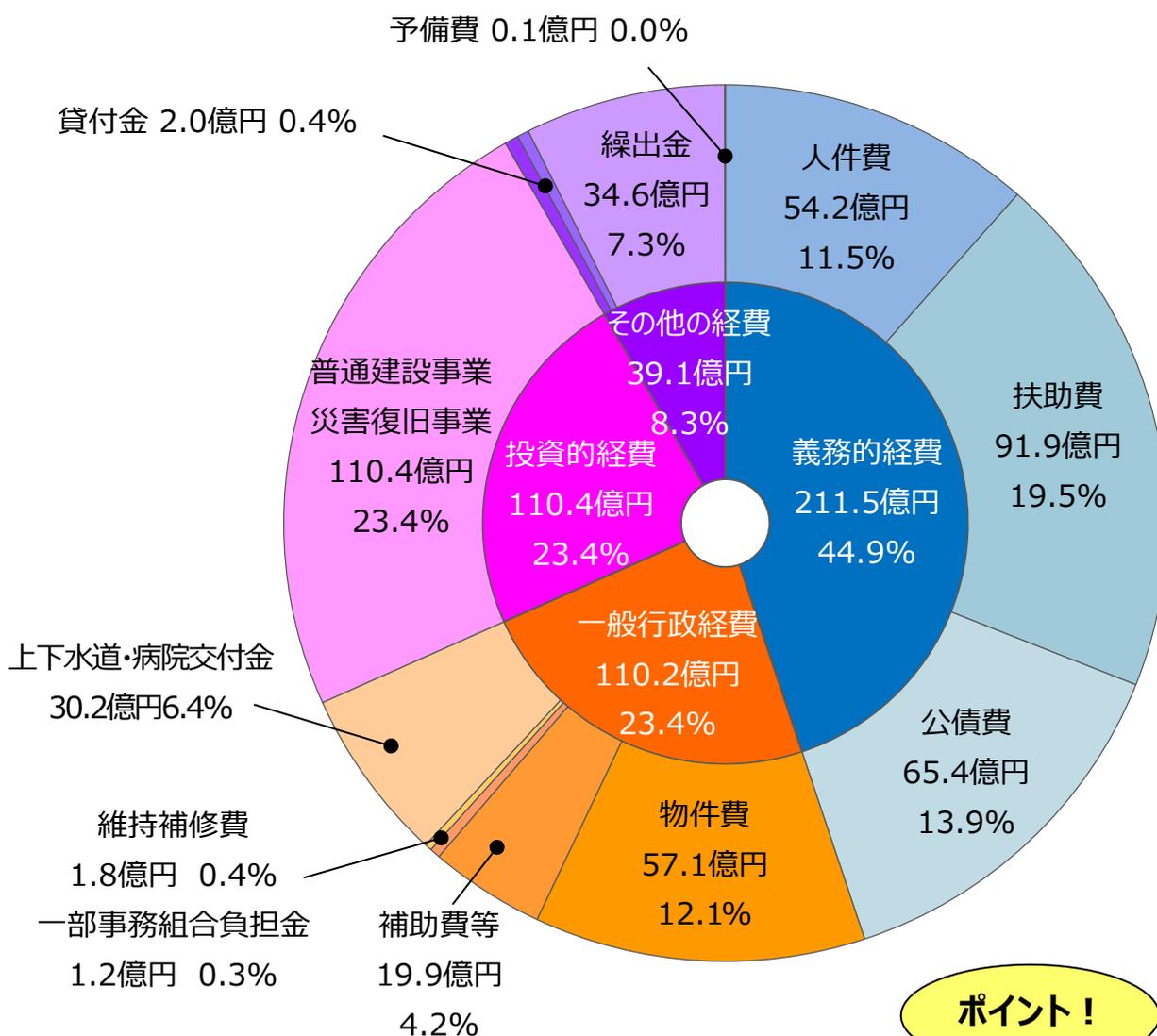
その他の経費

積立金	2億4,100万円	✳
貸付金	1億9,946万円	✳
繰出金	34億5,230万円	✳
予備費	1,000万円	➡
小計	39億 276万円	
合計	471億 666万円	

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費
国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の社会保障にかかる特別会計への負担分
- ・予備費…緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

Q. 一般会計の支出の内訳は？



ポイント！

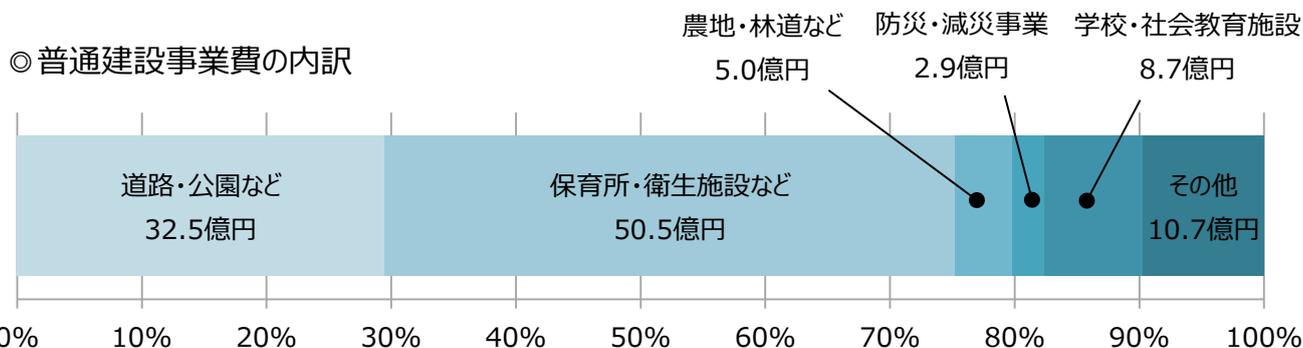


- 義務的経費は、前年比約9,100万円減少したものの、全体の半分程度を占めています。前年度と比較すると、人件費では退職職員の減少（退職手当額が減少）や職員の機動性を高め、スリム化を推進したことなどにより約2億4,000万円を節減し、扶助費では認定こども園に要する経費の増額等子育て支援を充実したことなどにより約1億7,000万円増加しました。
- 投資的経費は、(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設の本格化やJ R小松駅周辺を学びのエリアとして整備するなど国・県からの支出金を活用した事業を行うことにより前年比50億9,000万円の増額となりました。

平成29年度の小松市の歳出総額に占める義務的経費の割合は44.9%となっており、石川県内11市の平均の45.9%よりも若干低い（自由度が高い）状態となっています。

①普通建設事業費

(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設の本格化，JR小松駅周辺の学びのエリアとしての整備などにより前年度より50億9,000万円増額しています。国・県からの支出金をうまく活用することとし，建設事業の75%が補助事業となっています。

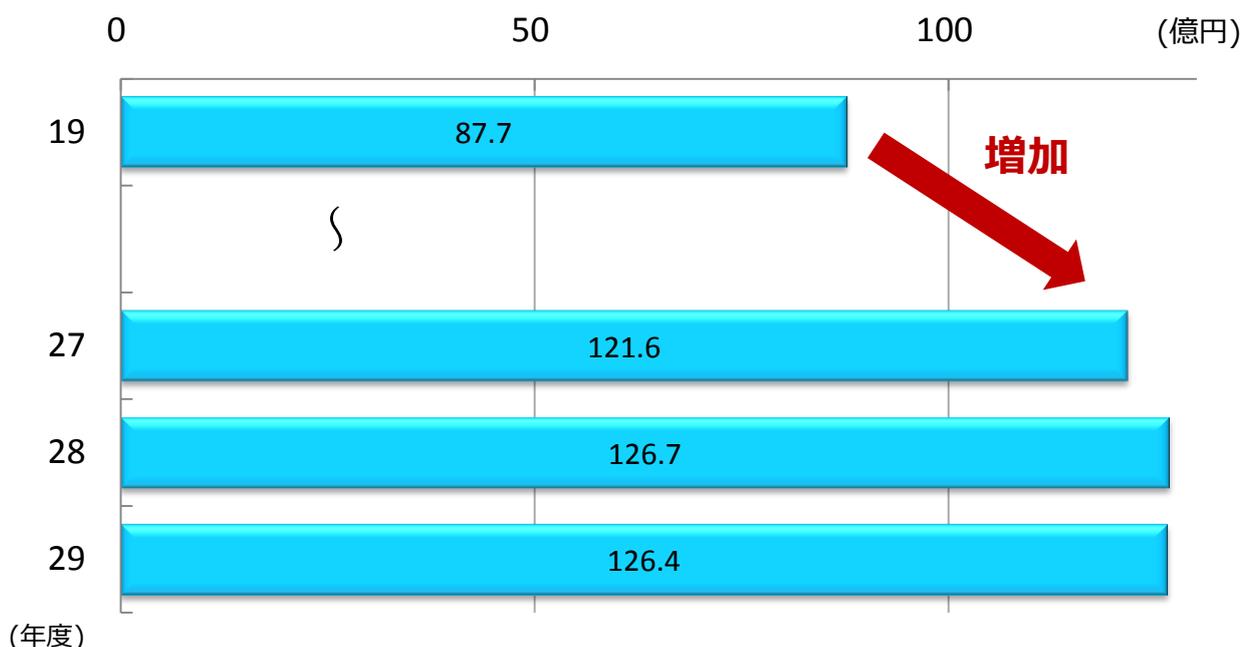


②社会保障費

少子・長寿社会の進展により，社会保障費は年々増加傾向にあり，10年前と比べると38.7億円増加しています。

平成27年度からの「子ども・子育て支援制度」により，教育と保育一体的に行う認定こども園移行する保育園・幼稚園に伴う児童運営費の増加や子ども医療費無料化等による子育て支援の増加などにより，ここ数年は120億円台で推移しています。

◎社会保障費の推移



5. 借金（市債）はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、繰上償還等を行ってきたことなどにより着実に減少に転じています。平成28年度末の残高は、前年度より約22億円改善し全会計の残高は約1,244億円となっています。

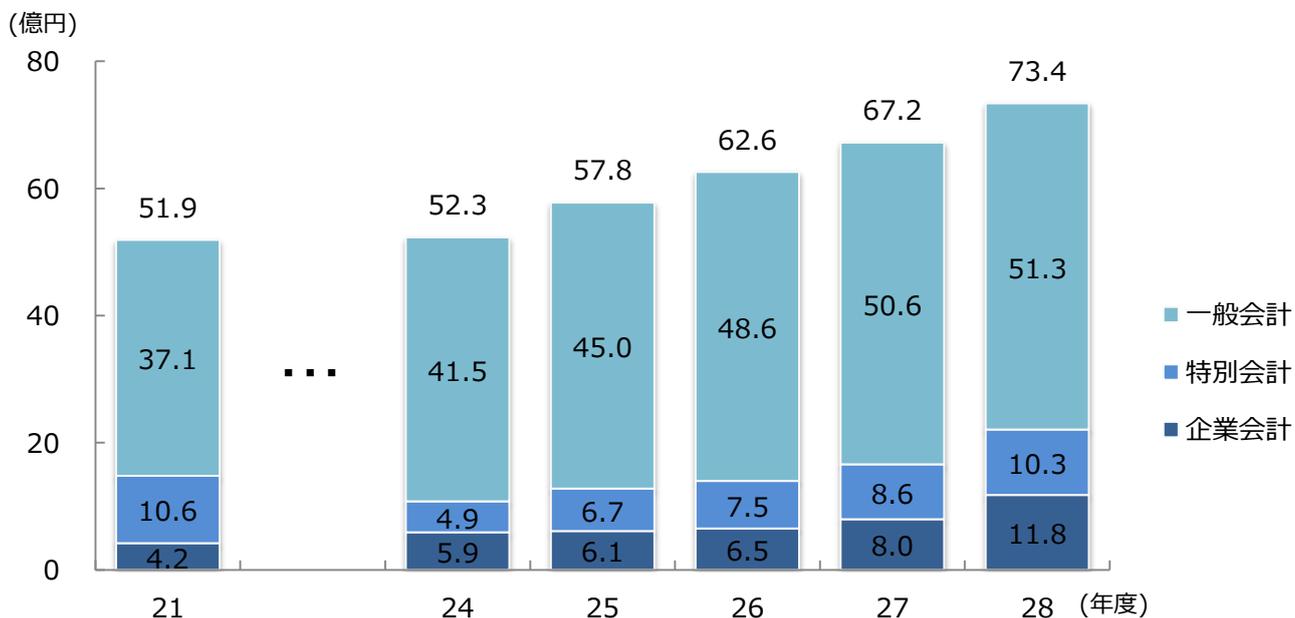
NEXT10年ビジョンでは平成37年度末の市債残高「1,000億円-a」を目標としており、将来負担のさらなる軽減に努めていきます。



6. 貯金はいくらあるの？

平成28年度末の貯金残高は73.4億円となっています。一般会計では平成20年度秋のリーマンショックの影響による収入不足の補填や市債の繰上償還を優先していたため、平成23年度までは40億円を下回っていましたが、近年の積み増しの結果、平成27年度以降50億円超となっています。

今後も、借金の減少と合わせて突発的な財政需要に対応できるよう貯金の確保に努めていきます。



7. 予算を家計簿に例えてみると…

小松市の一般会計を家庭の収支に置き換えてみます。限られた収入の中で、優先順位をつけて使い道を考えるというのは、市の予算も家計の予算も同じです。

一般会計の予算（471.1億円）を年間の収支が471万円（予算の約1万分の1，月収39.3万円）の家計に置き換えて眺めてみましょう。

小松市 1カ月の家計簿

【 収 入 】	【 支 出 】
給料 20.7万円 (市税,地方交付税,譲与税・交付金など)	食費 (人件費) 4.5万円
役所からの助成金・奨学金 10.6万円 (国県支出金)	医療や介護費, 保育費 10.5万円 (社会保障費)
各種ローンの借入 (市債) 5.2万円	住宅ローンなどの返済 (公債費) 5.5万円
パート収入など (そのほか) 2.8万円	家の改築, 家電製品の買い替えなど (建設事業費) 9.2万円
計 39.3万円	学費, 光熱水費, 日用品費 4.9万円 (物件費, 維持管理費)
	子どもへの仕送りなど 2.5万円 (上下水道・市民病院への支出)
	雑費 (補助費等, そのほか) 2.2万円
	計 39.3万円

ポイント!



「医療や介護費, 保育費」, 「食費」, 「住宅ローンの返済」の3つは、必ず毎月支出しなければならない支出へで、52.2%を占めています。

この割合が大きいと自由に使うことのできるお金が少ないことを意味しています。

NEXT 10年ビジョンの実現に向けて

～共創とひとづくりを原動力に～

8. 主な施策の概要

平成29年度に実施する事業のうち、主なものをテーマ別にお知らせします。

① 世界で、ふるさとで活躍するひとづくり

公立小松大学開学に向けた準備

4億1,500万円

設備整備・未広キャンパス用地取得・造成



「新しい学校づくり」を推進

600万円

金野小，西尾小，波佐谷小の統合推進



英語力向上を推進

4,390万円

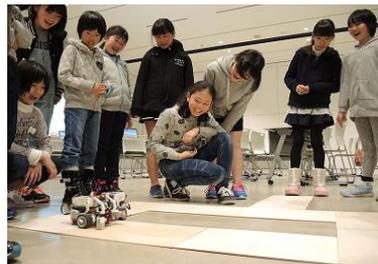
小中学校での海外文化の理解促進, A L T
を2名増員



ひととものづくり科学館の魅力アップ

3,900万円

未来を担う子どもたちのものづくりに対する興味
を促進



② 北陸のダントツなまちへ

北陸新幹線建設推進

1億400万円

北陸新幹線金沢ー敦賀間の建設負担金



駅周辺の利便性を向上

3億200万円

市民交流ラウンジ，屋根付き通路，駅南駐車場整備



(仮称)学生まちなか文化・交流館

6,360万円

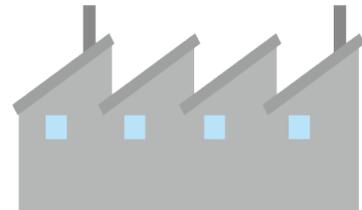
まちなかに市民と学生の交流拠点を整備



産業団地造成（正蓮寺エリア）

3億4,720万円

正蓮寺エリアの産業団地造成
(H29年12月 竣工予定)



③ 子どもたちの笑い声があふれ，家族みんなの安全安心

子育て支援拠点「カブツキーランド」 の運営

6,350万円

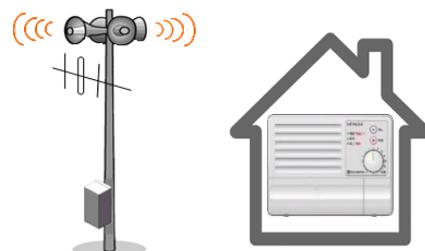
Komatsu A×Z Square内の「学び」をテーマにした子育て支援拠点を運営



災害に強いまちづくりの整備

2億380万円

防災行政無線全町内配備完了

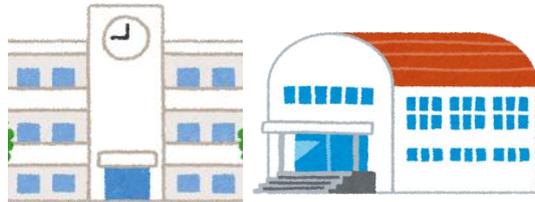


④ スポーツ施設の充実，機会の創造

小中学校の環境整備

4,060万円

能美小・荒屋小グラウンド改修，
月津小・丸内中体育館の床改修



大杉みどりの里にクロスカントリー

2,400万円

年間を通じてノルディックウォークなどのスポーツ
の利用を促進



⑤ 大交流時代へ 世界から評価されるまちへ

粟津温泉の賑いを創出

2億8,500万円

粟津温泉開湯1300年に向け，交流広場を
整備



東京オリンピック・パラリンピックに

1億2,986万円

NTC競技別強化拠点施設に指定されている木
場潟カヌー競技場に専用トレーニングセンターを
建設



遊泉寺銅山跡整備支援

5,000万円

企業版ふるさと納税を活用し，遺構のモニユメ
ント・公園・遊歩道等の整備



(仮称)九谷焼創作工房整備

5,000万円

企業版ふるさと納税を活用し，若手九谷焼作
家の育成，石文化の交流拠点施設を整備



⑥ みんなの暮らしを支える地域の絆とやさしさ

(仮称) エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設

46億円

(仮称) エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設 (平成30年7月稼働予定)



ごみダイエット50%

3,840万円

「ごみダイエット50%袋」の継続により、家庭系可燃ごみ減量・分別の取組み



フローラルこまつ2020の展開

1,940万円

花と緑の名所づくり等第2期推進プラン実施



木曽町住宅建て替え

3億5,350万円

平成30年度第1期工事完成予定



第一地区コミュニティセンター
大規模改修

1億6,000万円

地域の福祉、学び・交流の拠点へリニューアル



高齢者相談センターの機能充実

1,000万円

予防に対する取組み、共創による地域づくりにつながる活動等の推進



⑦ ICTが夢を広げるスマートライフ

Japan Wi-Fiと連携

390万円

市内公共施設12カ所対応



カブッキーポイントを開始

280万円

公共施設利用・イベント参加でポイント付与・還元



⑧ 財政の健全化

- 特別職人件費 市長△10%, 教育長△5% △149万円
- 将来負担軽減に向けた繰上償還 1億円

平成29年度小松市予算のあらましについて

もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別案内（財政課）のページをご覧ください。

[発行]平成29年8月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL : 0761-24-8144 (直通) FAX : 0761-24-8190
メール : zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP : <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>